



令和8年度 地区懇談会

- 01 令和7年度の取組報告
- 02 令和8年度主要事業
- 03 その他の主な施策



登録は
こちらから /



市の公式LINEともだち登録をお願いします。防災無線と連動して、災害情報をお届けします。

01

令和7年度取組報告

笠原小中学校

令和8年4月開校

Point

東濃地域初の
義務教育学校



笠原こども園

令和8年4月開園

Point

笠原幼稚園、笠原保育園
を統合した市内初
のこども園



北消防署

令和8年2月開署

Point

市内3消防署が
市全域をバランス
よく包含し、現場
到着時間を平準化



東濃5市 消防指令センター

令和8年4月共用開始

Point

各市の災害情報及び
消防車の動態を
一元管理



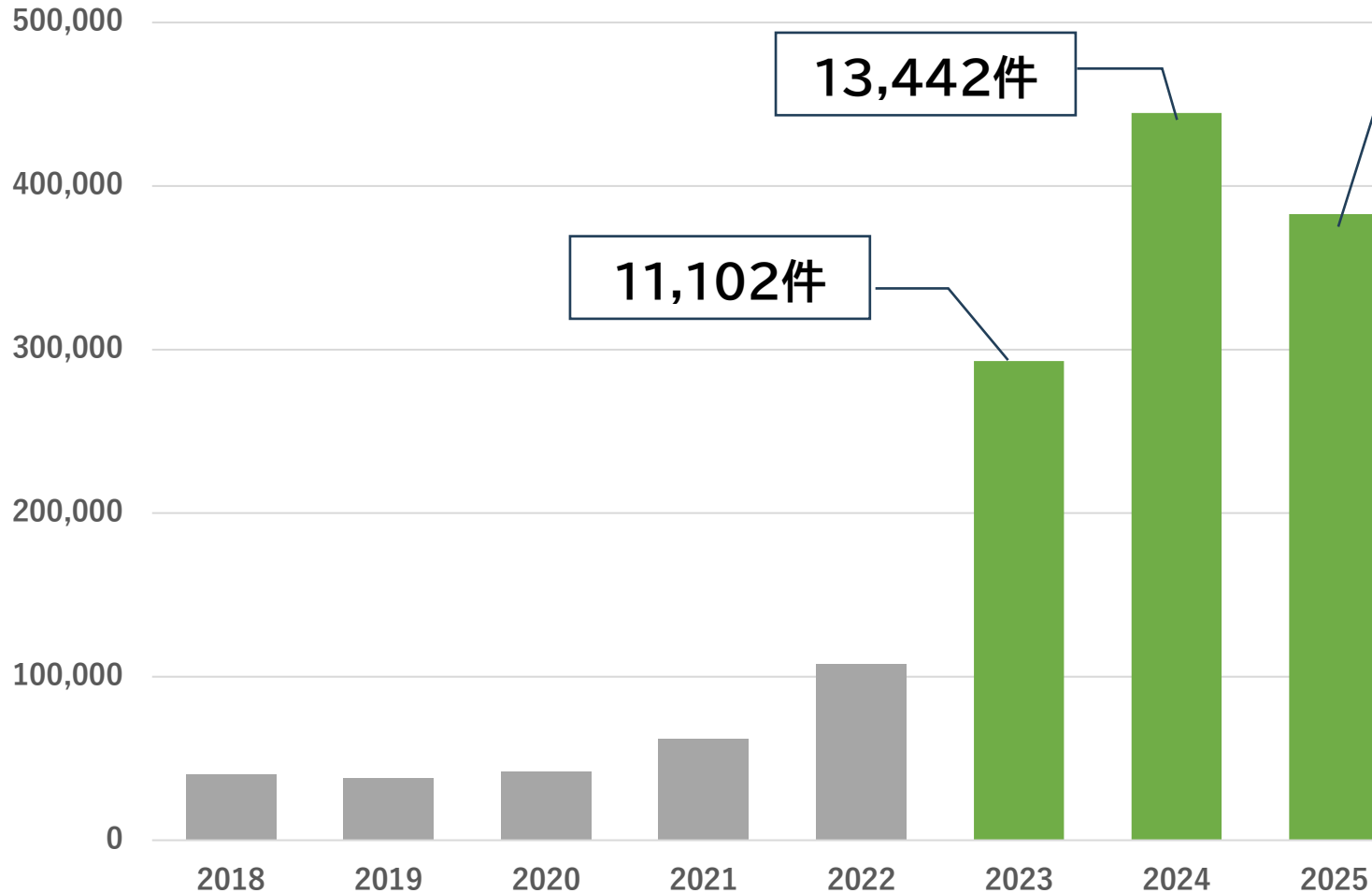
02

ふるさとと納税の取り組み



(千円)

年度別ふるさとと納税額の推移



2025年度

金額約 **3億8,289万円**

寄附件数 **13,580件**

※2026年3月末時点

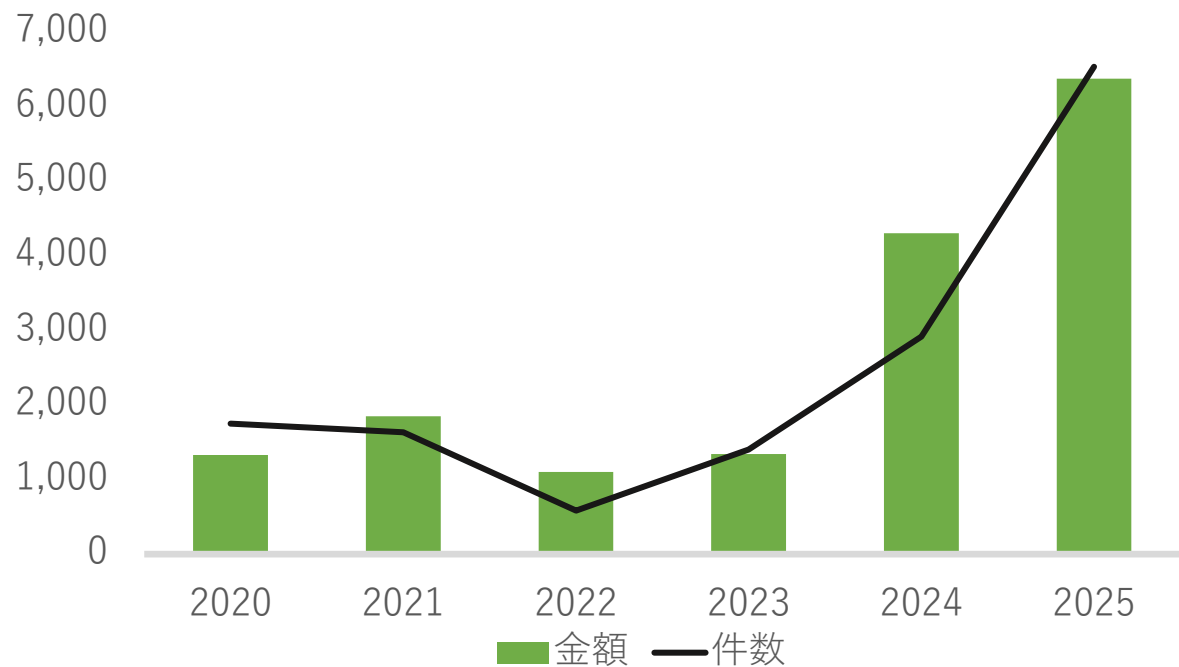
- ・新しい魅力的な返礼品を開拓
- ・PRも強化(名刺サイズPRカード)



03 企業版ふるさと納税の取り組み

(万円)

年度別企業版ふるさと納税額の推移



(件)

2024年度

金額約 **約4,300万円**

件数 **25件**

2025年度

金額約 **約6,400万円**

件数 **56件**

※2026年3月末時点

企業版ふるさと納税を活用した事業を推進

- ・子育て、防災など幅広い分野で活用
- ・R8は喜多緑地の大型遊具整備事業、中京学院大学移転に向けた事業などに活用予定

02 | 令和8年度主要事業

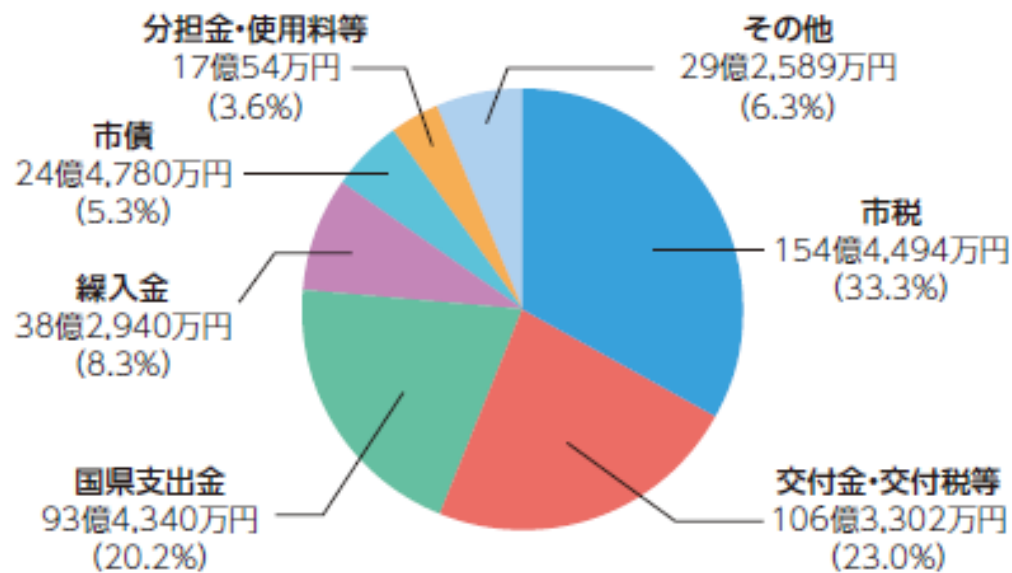
令和8年度予算

一般会計当初予算 **463億2,500万円**

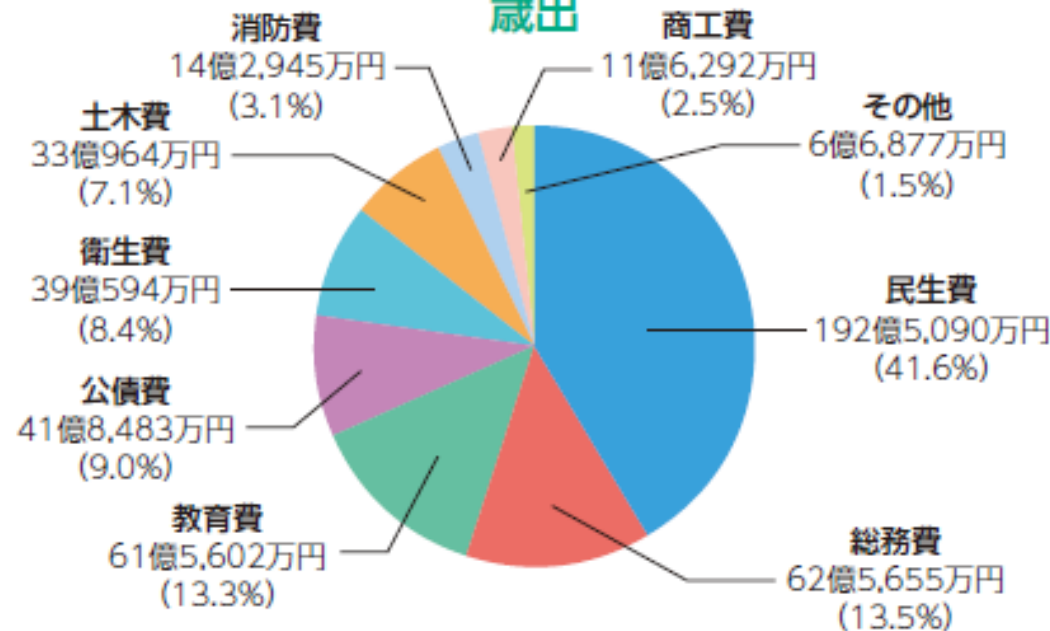
過去2番目の
予算規模

一般会計の歳入歳出予算

歳入



歳出



大型建設事業

喜多緑地遊具整備

6,464万円

芝生広場に大型複合遊具を整備



令和8年10月
完成予定

大型複合遊具完成イメージ図

市立小中学校体育館の空調整備

債務負担行為

限度額

16億9,000万円

令和8～9年の2年間で実施

小泉小、陶都中、笠原小中

体育館は整備済み



災害時、避難所
として活用。

星ヶ台競技場第2種公認継続改修事業

1億2,016万円

県内唯一の第2種公認



子育て世代が選び、住み続けたいくなるまちづくり

小学生学校給食負担軽減

予算額 3億344万円

財源: (県)補助金	2億6,186万円
(国)物価高騰交付金	3,823万円
市負担	335万円

令和8年度は、
保護者負担ゼロ

市長3大マニフェストの1つ

中学生学校給食無償化

予算額 1億7,584万円

私立、市外の中学校に通う生徒には給食費相当額を給付

令和7年中に開始した市長3大マニフェストに係る予算

- ・18歳までの医療費無償化 7,293万円
- ・第2子以降の3歳未満児保育料無償化 12,796万円

子どもの貧困対策 予算額 1,960万円

- ・学習支援事業の実施(学習館、旭ヶ丘公民館、根本交流センター)
- ・子ども食堂の運営を支援

乳幼児通園支援事業 予算額 6,093万円

0歳6カ月から3歳未満時までの子が対象の
「こども誰でも通園制度」を開始(上限10時間/月)



毎年好評いただいている
こどもフェスタを今年も開催

元気で安心して暮らせるまちづくり

■ 高齢者への予防接種補助

予算額 1億6,952万円

肺炎球菌65歳、
インフルエンザ・新型コロナワクチン65歳以上、
帯状疱疹65歳以降5歳刻み

令和8年度、高用量インフルエンザワクチン助成を検討

■ 生活習慣病予防推進

予算額 6,088万円

各種健康診査委託費、肝炎ウイルス健診の受診者数の増加を図るため、受診券の送付対象者を拡大等。

■ 地域公共交通対策

予算額 4,826万円

バスチケット65、デジタル回数券の導入

- ・65歳以上の市民の方に6,000円分（100円券×60枚）を支給
- ・平日は1回の乗車に1枚、土・日・祝日は2枚使用可



高齢者サロンでバスの乗り方教室を開催→

■使用枚数
令和6年度
73,258枚
令和7年度
230,530枚



にぎわいを生み出すまちづくり

中京学院大学の移転・一元化に向けた事業



- ・施設整備補助、ウェルカム事業実施
- ・滝呂球場、笠原向島運動広場改修工事

IAC(国際陶芸アカデミー)総会

2030年10月多治見市開催の誘致成功!

- ・第15回国際陶磁器フェスティバルの会期中開催
- ・国内では京都、名古屋・佐賀に続く3番目

第14回国際陶磁器フェスティバル、次回
の開催は2027年

IACとは・・・

1952年に設立された、スイス・ジュネーブに本部を置く
世界中の陶芸関係者が集う権威ある学術団体

- ・89の国と地域から1,200を超える会員で構成
- ・評議会日本代表理事に陶磁器意匠研究所の職員が就任中



持続可能で快適に暮らせるまちへ

東濃西部3市広域 ごみ焼却施設



審議会から答申書を受け取った3市市長



リチウムイオン電池の 回収促進

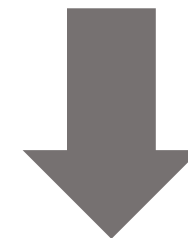
令和8年7月～
毎月第1土曜日、笠原クリーンセンター
の休日開場を開始



- ・全国的にリチウムイオン電池等の発火事故が相次ぎ、問い合わせが増加
- ・市民の安全確保、回収時の事故防止対応
- ・本庁舎(環境課)でもモバイルバッテリーの回収を実施

市役所来庁者対応を カイゼン

おくやみ・転入の手続きで、多くの様式に氏名や住所を繰り返し記入



- ・手続き内容をデジタル化し、プリンターで様式を印刷
- ・サインや✓をするだけで手軽に

様式を統合し、
記入回数を少なく&時短化

03

その他の主な施策

新庁舎建設関連事業

「住み続けるまちの行政サービス拠点」

工事期間 R9.7月着工～R12.3月予定

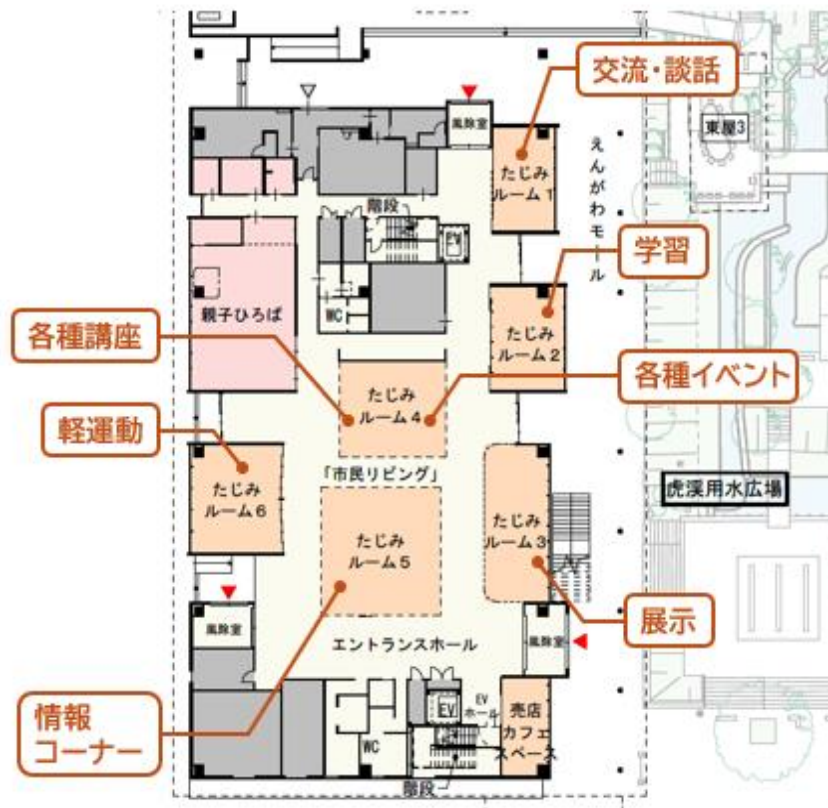
令和7年度、「多治見市役所新庁舎建築基本設計」を作成



新庁舎完成イメージ図

JR多治見駅からの動線がスムーズに！

パブリック・コメント等の意見を反映し、新庁舎と多治見駅南北自由通路間の接続通路両側からアクセスする階段を新設する方針を決定



にぎわい創出・発信拠点 (1階(仮称)市民リビング)

- ・多世代交流可能な多目的空間
- ・女性用トイレを拡充
- ・「親子ひろば」を移転
- ・帰宅困難者の一時退避
- ・イベント・学習等で活用
- ・休日も利用可能

愛岐道路について

復旧時期は未定

- 原因調査や設計、再発防止策の検討が必要

現在の状況

- 11月30日に土砂崩れが発生
- 市之倉町13交差点～平和町5交差点
約3.2km区間で全面通行禁止
- 昨年12月に有識者による調査を実施

施工後長い年月をかけて劣化や降雨等水が集まりやすい環境等、複数の要因が重なったとみられる。

復旧を目指して

- 事業主体である県と密に情報共有・連携
- 国や県に財源確保を継続的に要望

市之倉町地内の迂回路の通行等にご協力をいただき、ありがとうございます。



地域商品券の配付

5月下旬から順次、全世帯へ配布

金額

市民一人あたり**6,000円分**(1,000円券×6枚)

対象

令和8年4月1日時点で多治見市に住民登録のあった方

配布方法

ゆうパックで世帯主宛に配達

使用期間

6月1日(月)~12月18日(金)



- ・期間終了後は使用できません。届き次第、お早めにご使用ください。
- ・市内の加盟登録店舗で使用できます。(商品券に同封する一覧表や市、多治見商工会議所のホームページでご確認ください。)
- ・全世帯への配付には3カ月程度かかる見込みです。



躍動するまちたじみ！ 市民が主役のまちづくり

多治見市制記念花火大会

